

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第178号

10

17.30

表紙

・お金と仲良くつきあう力をつけよう

P3

・活動報告 エスコープ大阪 2017 リフレッシュツアー／信州生産者交流訪問
・サークル紹介 ・消費材紹介

P2

・ゲノム編集って何？

P4

・大きく育て福祉の樹「障がい児支援」
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

お金と仲良くつきあう力をつけよう

ここ数年、有効求人倍率が増加傾向にあります。まだまだ非正規雇用が多く、介護保険制度を見てもサービスが縮小されるなど、先々どうなるのか漠然とした不安がのしかかります。日本は少子高齢化、経済格差、貧困の拡大などの問題を抱えています。国の制度を充実させていくことも必要ですが、自分たちでお金に対する知識や管理する力を高めることも大切です。そこで今回は、生活クラブ組合員を対象とした「ライフプラン講座」の講師でおなじみの「ワーカーズ・コレクティブ 生活クラブFPの会」のおふたりに、お金の不安に対する力をつけるにはどうしたらいいのかを伺いました。

(聞き手:福祉担当理事 齊藤 真由美)



ワーカーズ・コレクティブ
生活クラブFPの会

木村 陽子さん
(泉州地域)

佐藤 啓子さん
(河内長野・大阪狭山地域)

多くの人が
将来のことに
漠然とした不安を
持っている

齊藤 ライフプラン講座や保障に関する個人相談では、どのような相談が多いですか？
佐藤 漠然とした不安を持っていて、その不安を明確にできていない方が多いと感じます。社会保障など国の制度について学校では教えていないので、年金の重要性が理解できていません。高齢になって年金がいくらもらえるか把握しておらず、余計な不安を持っている人がいます。
木村 不安だからとにかく保険に入っているけれど、それが自分の家計に合っているのかどうか分からないという方もいます。例えばお子さんがまだ小さい方は、まわりが子育てにはお金が必要と言うの

で、どのくらい必要かわからないが、高額な保険に加入していることがあります。

不安の原因を
きちんと見つめよう

齊藤 どうしたらその不安をなくすことができますか？

佐藤 不安の原因をきちんと見つめて、その対処を考えることが大切だと思います。知ると知らないのでは、全然違います。いろんなことを知ることによって安心感を持って生活を送ることができます。むやみに貯蓄しなくても、わが家にとって必要なお金がわかれば、安心してお金を使うこともできますし、その逆もしかりです。
木村 必要な保障は家庭によって違います。公的な保障制度の知識も併せて持てば、各家庭に合った保障を自分で考えられるようになります。

佐藤 ライフプラン講座に連続して参加すると、社会保障なども含めたお金に関する仕組み全体がながって見えてきます。人は生まれてから死ぬまでお金に無縁でいられないと思います。お金の仕組みについて知れば、収入が少な

いなりにも安心して暮らせませす。そして、その分消費材を利用すれば健康の不安も減るのではないのでしょうか。

ライフプラン講座で
家計管理能力アップ

齊藤 正しい知識と情報を持つことが大切なのです。しかし、公的な保障制度も民間の保険もずっと同じままではありません。今、特に気を付けておいたほうがいいことはありますか？

佐藤 そうですね、生命保険も社会事情に合わせて次々変化しているのが、最新情報をライフプラン講座で伝えていくようにしています。お金に関わる制度は常に変わるので、以前参加したテーマの講座でも年に一回は受講して欲しいですね。

木村 一人で学習するの難しいですが、ライフプラン講座に来たら仲間もでき、楽しく勉強できますよ。食や環境だけでなく、将来必要なお金



ワーカーズ・コレクティブ 生活クラブFPの会とは

生活者の目線とFP(ファイナンシャル・プランナー)の知識を活かし、主に生活クラブの組合員を対象にしたライフプラン講座の企画、講座への講師派遣、および個人相談を中心に活動しています。講師陣であるFPは、主婦で生活クラブ組合員の集まりです。

ワーカーズ・コレクティブ 生活クラブFPの会
<http://www.seikatuclub-fp>

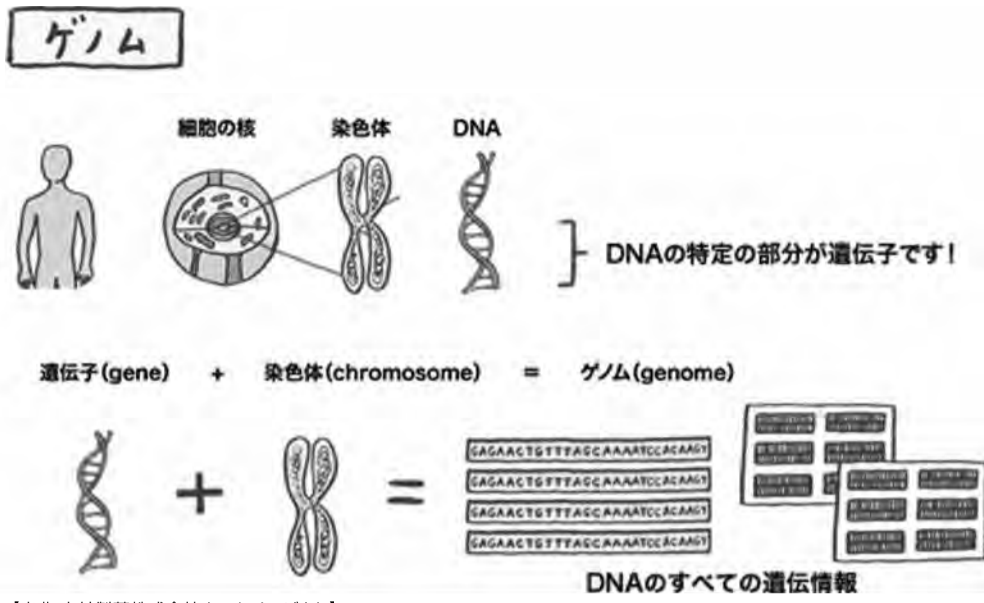
ライフプラン講座の開催については、今週配布の共済おすすぬニュース「つたえ愛」をご覧ください。

への漠然とした不安を、ライフプラン講座で「これくらい必要」と自分で考えられるようになってもらえたらうれしいです。
齊藤 FPの会のライフプラン講座では、わかりにくい制度や情報についても、生活者の目線からかみくだいて、わかりやすく伝えてくれます。各地域でもいろんな講座を企画して、皆さんと一緒にお金に対する力をつけて、もっと明るい社会につなげて行くことができたらと思います。

ゲノム編集って何？

1996年に遺伝子組み換え(以下、GM)作物の商業栽培が始まってから、私たちはGM作物に反対し、消費材の原料や畜産飼料にまでその意思を反映させてきました。

最近「ゲノム編集」という言葉を耳にする機会が増えましたが、ゲノム編集により遺伝子操作が新たな領域に入っていることがわかりました。生活クラブ連合会では8月に活動推進者向けに学習会を開催し、エスコープ大阪からも参加しました。北海道大学教授で「ゲノム編集を問う」(岩波新書)の著者でもある石井哲也さんを講師とした学習会の情報とゲノム編集について報告します。(理事長 岡公美)



【出典:中外製薬株式会社ホームページより】

ゲノム編集とは

生物の細胞には核があり、核の中に染色体があります。染色体にはDNA(二重らせん構造)が含まれ、その中で遺伝情報を持っている領域のことを遺伝子といいます。「ゲノム」とは、遺伝子と染色体を合わせた造語で、その生物にとって必要な遺伝物質の一式、生物の設計図を意味します。

「ゲノム編集」とは従来のGM技術とは異なり、種を超えずに細胞内のゲノムの特定部分を自由に操作する新しい技術です。特定のDNA配列に導く役割をもつ制限酵素(ハサミ)を動植物の細胞に直接導入し、標的部位で高効率に様々な遺伝子を改変することができます。

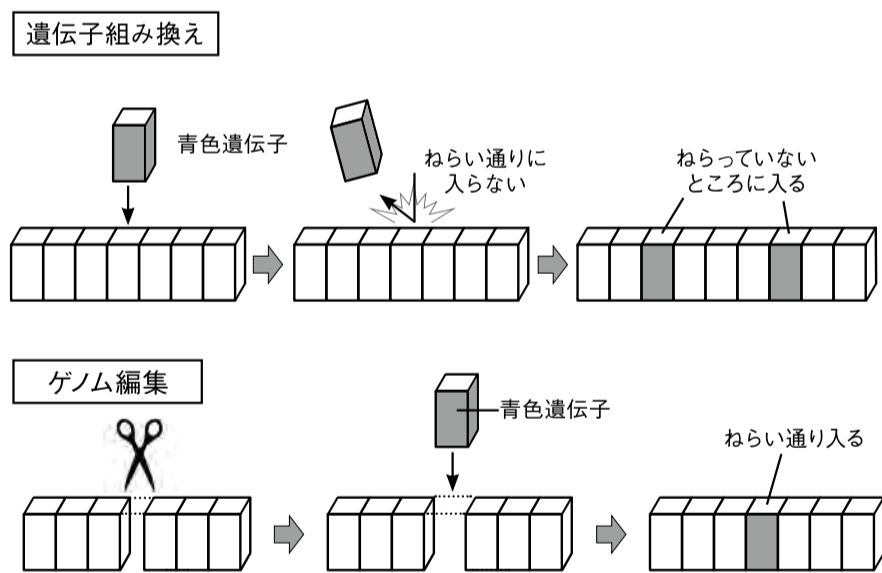
この技術は3世代あり、1996年に「ZFN」^{ジエヌエフエヌ}、2010年に「TALEN」^{タレイン}、そして2012年に「CRISPR/Cas9」^{クリスパー/キャスナイン}が登場しました。特に「CRISPR/Cas9」は条件を満たせば植物・動物を問わずゲノムを自在に編集でき、広範な遺伝子操作に利用できる画期的な技術です。安倍首相もこの研究者を官邸に招いて称賛しました。遺伝子治療など人間への応用も可能とされています。

遺伝子組み換えとの違い

品種改良は、異なる品種を交配させて良いものを選抜することを繰り返して長い年月をかけて少しずつ改良していきますが、GMは種の壁を超えて異なる生物の遺伝子を組み込むことで、新たな生物をつくり出します。

ゲノム編集は細胞の中でおこないますが、GMは細胞の外でDNAの切り貼りをおこなない、組み換えた遺伝子を細胞に導入しますが組み換えられるかどうかは不確実です。ゲノム編集は、GMよりも短時間で、より精度の高い技術とされています。

数打ちや当たる？



【「ゲノム編集の衝撃」NHK取材班著(NHK出版)】

でも100%じゃない

ゲノム編集による育種研究

現在、家畜では肉付きが2倍になった牛などの筋肉肥大、そのほか身の量が増えた養殖魚、マラリアの感染を媒介しない蚊などあります。また作物では、小麦のうどん粉病耐性、ジャガイモやイネの除草剤耐性なども研究がすすんでいます。

今年の3月には日本で初めてとなる、GMイネ(シンク能改変イネ)の隔離圃場での栽培試験が、カルタヘナ法に基づいて申請され、エスコープ大阪でも反対意思を示すパブリックコメントを提出しましたが、5月に「独立法人 農業・食品産業技術総合研究機構」(茨城県つくば市)で、日本初の野外栽培がおこなわれ、実用化に向けて研究がすすんでいます。

問題はないのか

ゲノム編集は、GMよりも高精度な技術であると先述しましたが、ただ100%確実というわけではないようです。切断しようとした場所と遺伝情報に似ている場合、目的の遺伝子以外の場所を切断し傷つけてしまう「オフターゲット作用(オフターゲット変異)」を起こすことがあります。食用作物の場合、アレルギー物質などが生じる恐れがあり、人間への治療などで応用された場合、誤って切断した場所に重要な遺伝子があるとガンなどの病気を発症してしまう恐れがあります。

また、私たちも活動しているGMナタネの自生調査でも報告があるように、交雑による生態系への影響が考えられます。その他、ゲノム編集ではDNAが改変されているかを科学的に解析するのが難しく、今はゲノム編集された家畜や作物は流通されていないようですが、商業化された場合、ゲノム編集されていないものを選んで食べることはできない可能性があります。

まずは情報をしっかりと持つ

そもそも命の設計図を操作することについて、私たちは考えなければいけないと思いました。技術が進歩したとしても根本的なことは同じで、長い時間をかけて命の営みの繰り返しから作り上げてきた生命の根源を、操作して超高速で瞬時に変えてしまつこと自体に危険性を感じます。

また、GM同様に今後特許の問題も出てくる可能性もあり、種を独占する動きや、生物多様性を脅かすことも考えられます。後で「やっぱり問題があった」となっても動植物を含めた環境や社会に放出されたものを回収するのは困難です。

このような状況を知らないまま、後で取り返しがつかなくなったと嘆かないためにも、できる限り知ること、広く共有すること、そして自分のついでに行動していくのかをみんなできちんと考えていきたいと思えます。

エスコープ大阪2017 リフレッシュツアー

8月3日(木)～5日(土)

組織担当常務理事 山田 智巨

「エスコープ大阪2017 リフレッシュツアー」を開催しました!



大活躍してくれました。交流会後は「国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)」に宿泊し、翌日の海水浴に備えました。

2日目
いよいよ子どもたちが楽しみにしている海水浴。行先は和歌山県の片男波海水浴場。子どもはもちろん大人も海水浴を堪能しました。一日遊んで疲れた体を温泉で癒し、宿泊先の「協同の家・下津」へと向かいました。夕食はウインナークラブの豚肉を使った焼肉で、エスコープ組合員や職員と一緒に、夜更けまでいろんな話をしながら交流を楽しんでいただきました。

「リフレッシュツアー」は、東日本大震災で被災した生活クラブ組合員とその家族の方が少しでも心身ともにリフレッシュしてほしいという思いで、2011年より開催しています。特に東京電力福島第一原発の事故による放射能の影響から被災地の子どもたちを少しの間でも遠ざける保養が目的です。

これまでエスコープ大阪と生活クラブ都市生活、都市生活コミュニティセンターの3者で活動してきましたが、今年度よりそれぞれで震災を風化させることなく被災地への支援活動をしていくことになりました。

エスコープ大阪では、子どもたちの夏休みに合わせてリフレッシュツアーを開催。この活動にかかる旅費などは、昨年生活クラブの組合員から寄せられた「東日本大震災第2次カンパ」の一部が活用されています。参加されたのは「生活クラブふくしま」の組合員3家族で、大人3名、子どもは0才から13才の6名、計9名となりました。

1日目
通天閣や新世界など大阪市内を観光。「ザ・大阪」という景観に子どもたちもキョロキョロ。この日の夕食はエスコープ大阪本部で「ワーカーズ・コレクティブつむぎ屋」が作ったオードブルに、組合員が準備



したお好み焼きやたこ焼きを囲んでの交流会をおこないました。子どもたちもたこ焼きを焼くことに

みなで準備して作った朝食をいただき最終日の朝を過ごしました。最後の交流ではほど良い疲れと、無事にツアーがおり交じり、涙する場面もありました。遠く離れた地に暮らしてはいますが、生活クラブの組合員同士たくさん共感を得ることができたリフレッシュツアーでした。

3日目
ツアー参加者からは、「エスコープ大阪の方々のおかげに感謝です。震災のことを忘れずにいてくれる方がたくさんいることを知ることができたことが心に残っています」などの感想をいただきました。原発事故による悲惨な経験をしました。原発事故による放射能汚染物質の始末や除染が進まないなど、たくさんの問題が山積みの中で先が不安な状況は変わっていません。一方で、人々の震災への意識は薄れていっているのが現状です。改めて現地の方々の声に耳を傾け、寄り添った支援活動を継続していきたいと思

いました。

※協同の家・下津：エスコープ大阪と、3軒のみかん農家からなる「豊共園」が共同出資で建設した交流施設。

消費委員会 信州生産者交流訪問 8月22日(火)・23日(水)

消費委員
(河内長野・大阪狭山地域理事)
糸川 江里子

ごまかしのない餃子と おいしい卵が産まれる理由を 知ることができました



1日 美勢商事で最初に見学したのは餃子の皮が型抜きされる製造ライン。型抜きされて残った生地は、以前は廃棄されていきましたが、組合員の「もったいない」との声を聞き、今は再加工されており、食べる私たちの声が反映されているなど感じました。

美勢商事の利根川さんを講師におこなったミニ学習会では、餃子の原材料表示を市販品と見比べ、消費材の餃子には市販品の多くに使われている食品添加物や植物性たんぱく

質が使われておらず、そのうえ遺伝子組み換えしていない国内産の原材料にこだわって作られていることを実感することができました。

2日目は、北アルプスを一望できる自然環境に恵まれた場所にある会田共同養鶏組合を訪問し、GPセンター(選別・パッ

ク詰めをするところ)、飼料用倉庫、飼料製造工場、開放型のケージ鶏舎を見学しました。生活クラブ用の新しいケージ鶏舎は、においもほとんどしない清潔な鶏舎でした。夏の時期は食欲が落ちるため、飼料を涼しい夜中の12時に与える工夫をしたり、鶏舎に冷風を送るための設備もありました。健康に配慮された鶏だからこそ、おいしい卵が産まれるのです。

参加者からは、「生産者に直接会って話を聞き、製造現場を見たことで、ますます消費材に愛着が持った」との感想がありました。生産者に会って、その考えや思いを参加者と共有できた楽しい旅になりました。

※植物性たんぱく：大豆などからタンパク質のみを抽出して作られる。食品添加物ではなく食品で、それ自体は悪いものではないが、見た目や食感が肉と似ているのでかさ増しや結着などのために使われる。味や香りは肉とは別物なので化学調味料や添加物で補っている。原料大豆が遺伝子組み換えの可能性もある。

2日目は、北アルプスを一望できる自然環境に恵まれた場所にある会田共同養鶏組合を訪問し、GPセンター(選別・パッ

市民活動を応援! サークル紹介 援農隊 SLサークル (代表：橋口 順一さん)



メンバーの皆さんは、「広い畑でおしゃべりしながらの作業は楽しいです。栽培のコツを教えてください」とも、「日常では気がつかない、街中にある別世界ですね」「庭の草取りもするようになりましたよ」

「退職後の夫のミッション」となっていて、日々の生活に張り合いがあるように見えます。「大変だけれども気分良く作業ができて達成感もあり、意外と続けられています」と、汗をかきながらいきいきと活動されていました。代表の橋口さんは、「人と人のつながりをつくるのが目的。農家のお役にも立ててやりがいも感じられます」とおっしゃっていました。

2011年に理事会の呼びかけで、地域コミュニティの再生取り組みとして男性も積極的に生協活動に参加できるように定年後の男性を中心に畑援農隊が結成されました。2012年からサークルとして活動を開始し、「菜食ファーム」の大町さんや中村さん、松下さんの圃場で援農作業をしたり、生産者からいただいた野菜を使つての料理会などのイベントもおこなっています。

取材した日は、朝7時半から中村さんの圃場でご夫婦2組を含む6名が活動していました。この日は小松菜と一緒に成長した雑草の除草作業です。鋤で畝の側面をかいていく人、手作業で除草する人に分かれ、それぞれ自分のペースで作業をしていきます。

メンバー募集!!

- 活動日：毎月第1・3土曜日と最終週の日曜日
※生産者の状況によって平日作業もあります
- 夏は朝6時半、冬は8時半
ぐらいから2時間
- 問い合わせ：生協エスコープ大阪本部
理事会事務局
TEL: 072-293-4660

話題の消費材登場

素直な大豆の味!! 味わってみてください

「(株)豆伍心」の豆腐も好きですが、おすすしたいのはわが家のヒット消費材の『豆乳』です。国産大豆100%、成分無調整の豆乳はスーパードーナかなが見かけません。大豆は畑の肉とも言われるくらいビタミンが豊富です。

「いつも朝食前にそのまま飲んだり、牛乳で割ったり、時にはきな粉や黒すりゴマを入れたりします。とても素直な大豆の味が気に入っています」とお連れさん。私はもっぱら豆乳鍋です。白みそを入れたり、豆板醤で辛味をプ

毎週取り組みです!



豆乳 200ml×2 214円(税込231円)
 (株)豆伍心
 滋賀県産中心の国産大豆100%使用。成分無調整。飲料や料理に。湯葉や手作り豆腐にも。

スしたりと変化を楽しんでいきます。豆乳は、飲んでよし、食べてよし。これからの鍋の季節には最高です。ぜひ豆乳鍋を一度お楽しみください。

東北支所職員 村田 裕之



第5回 理事会報告 <9月6日>

【7月度決算報告】

- 供給高 2億859万円(前年同月比104.52%)
- 組合員数 18,689名(前月比+13)
- 一人あたりの出資金 80,596円

【8月の放射能検査結果】

8月は連合消費材753検体の放射能検査を実施しました。またエスコープ大阪独自の消費材については5検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①賃金規定の一部変更について
- ②岸和田DCの合併浄化槽改修工事

【協議事項】

- ①主要課題の集会、新加入者集会の下期の活動にむけて
- ②「日本の種子(たね)を守る会」への団体加入について
- ③旬菜セットチャレンジ品目「うまいな」の生産者補てんについて
- ④単協独自米17RY(2016年産米)の残俵処理と18RY(2017年産米)の消費約束量について
- ⑤店舗消費材の品揃え提案(エスコープ大阪独自取扱消費材)

【報告承認事項】

- ①阻止ネット「もんじゅ視察ツアー」参加のための予算外執行
- ②米国GM食品表示に関する米国農務省への意見提出
- ③「電気事業法施行規則」等の一部改正に対する意見の提出

「大きく育て福祉の樹」では、エスコープ大阪の「たすけあい」のしくみについて紹介していきます。今回は、エスコープ大阪の「障がい児支援」についてお伝えします。

一人ひとりが 安心して過ごせる空間を

2012年に放課後等デイサービスの制度が始まると多数の民間事業者も参入し、雨後の筍のようにたくさんの方々が放課後等デイサービス施設が開設されました。エスコープ大阪では2002年に第1次福祉中期計画を決定。食や環境に関わる共同購入の取り組みから、私たちはたくさんの方々の命と人に支えられていることを知り、助け合いと命を大切にすることを前提に、「誰もが地域の豊かな関係の中で共に暮らすための支援」に取り組みをいたしました。多様な人たちと出会い、社会的に弱い立場にいる人への理解と共感、互いに支え合うことは、私たちの活動や社会も豊かなものにしていきます。この方針のもと、支援費制度開始時より障がい児・児支援を開始し、利用者により添った支援をおこなってきました。

グリーン・ピース光明池の夏祭り

●8月19日(土)

「グリーン・ピース光明池」は、小学1年生から18歳までの障がいを持つお子さんが放課後に通う放課後等デイサービス施設です。夏休みの間は学校が休みなので、朝からグリーン・ピースの送迎車に乗ってやってきます。

夏祭りのこの日はボランティアと一緒に、金魚すくいや輪投げ、超新星スバルファイブのショーなど、盛りだくさんの企画を楽しみました。お祭りの雰囲気を盛り上げようと、お昼ごはんは「ワーカーズ・コレクティブ つむぎ屋」が作った焼きうどん、カレーライス、じゃがバター、チョコバナナと、夏祭りメニュー。子どもたちはいつもと違った雰囲気に緊張することなく、夏祭りを楽しんでいました。



コープ大阪の施設である「グリーン・ピース光明池」のある和泉市でも現在30ヶ所ほど開設されています。支援の質の向上を図り、児童福祉法が改正

選択できるサービスが拡大したことは喜ばしいことですが、それまで障がい者支援をおこなったことのない企業などが参入したため、利益を追求して質の低い支援をおこなう事業所が出るなど、いくつか問題が出てきました。そこで質の向上と支援内容の適切化を図るために、2017年4月1日に児童福祉法が改正されました。放課後等デイサービス事業所の見

児童発達支援管理責任者の実務要件や人員配置上必要な職員についての基準の見直しが必要です。同時に「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいた自己評価及び改善内容等を、インターネット等を通して公表することが義務付けられました。

エスコープ大阪ではこれからも利用者一人ひとりに寄り添い、安心して過ごせる空間をつくり、生活力を向上させるための支援を続けていきます。

※放課後等デイサービス：6～18歳までの障がいのあるお子さんや発達に特性のあるお子さんが、放課後や夏休みなどの長期休暇に利用できる福祉サービス。「障がい児の学童保育」でも言われています。



放課後等デイサービスが 続々増加

障がいをもつ人々に対する福祉制度は、それまでの措置制度に替わって2003年に支援費制度が始まり、サービスを利用する人が自分でサービスを選択できるようになりました。

支援の質の向上を図り 児童福祉法が改正

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

176号表紙「木のある暮らしは森や子どもたちの豊かな育ちにつながる」を読んで

紙面モニター Aさん

つい先日、「木」の香りってこんなに幸せになれるものなんだ!? ということを実感しました。日頃よく利用する施設の近くに目新しいカフェがオープン。入ってまず、「木」のいい香りに驚き、人間という動物は古来自然と共有していたのだというDNAを改めて感じました。店内が木でできているので、いたる所から「木」の香りがして幸せなひとときでした。

177号表紙「いよいよみかんシーズン到来! 今シーズンより新たな生産者が加わります」を読んで

紙面モニター Bさん

みかん好きの私は、毎年生協のみかんを楽しみにしている。下津町に「協同の家」ができた頃、生協の見学会でバスで行ったことがある。実際に農園まで歩いて摘果の方法を教えていただいた。久しぶりに自然豊かな下津町を訪ねてみたくなった。

キリトリ

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
178号(2017.10.30)

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

編集後記

9月17日(日)に予定していた「針江げんき米稲刈り交流会」は台風18号の接近により、やむなく中止とさせていただきます。参加者はもちろん生産者もとてもがっかりしていました。毎年、観光バスに乗り切らないくらいたくさんの方の申し込みをいただき、抽選で参加していただいています。今年は初参加の方も多く、新たな針江ファンを増やすきっかけとして期待していたのですが…。春に田植えに行ったのに抽選から漏れる方もおられました。ご意見をいただくこともありましたが、よりたくさんの方に針江を知っていただくためにもご理解をいただくと幸いです。また来年たくさんの方に針江に訪問していただけるように計画していきたいです。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/